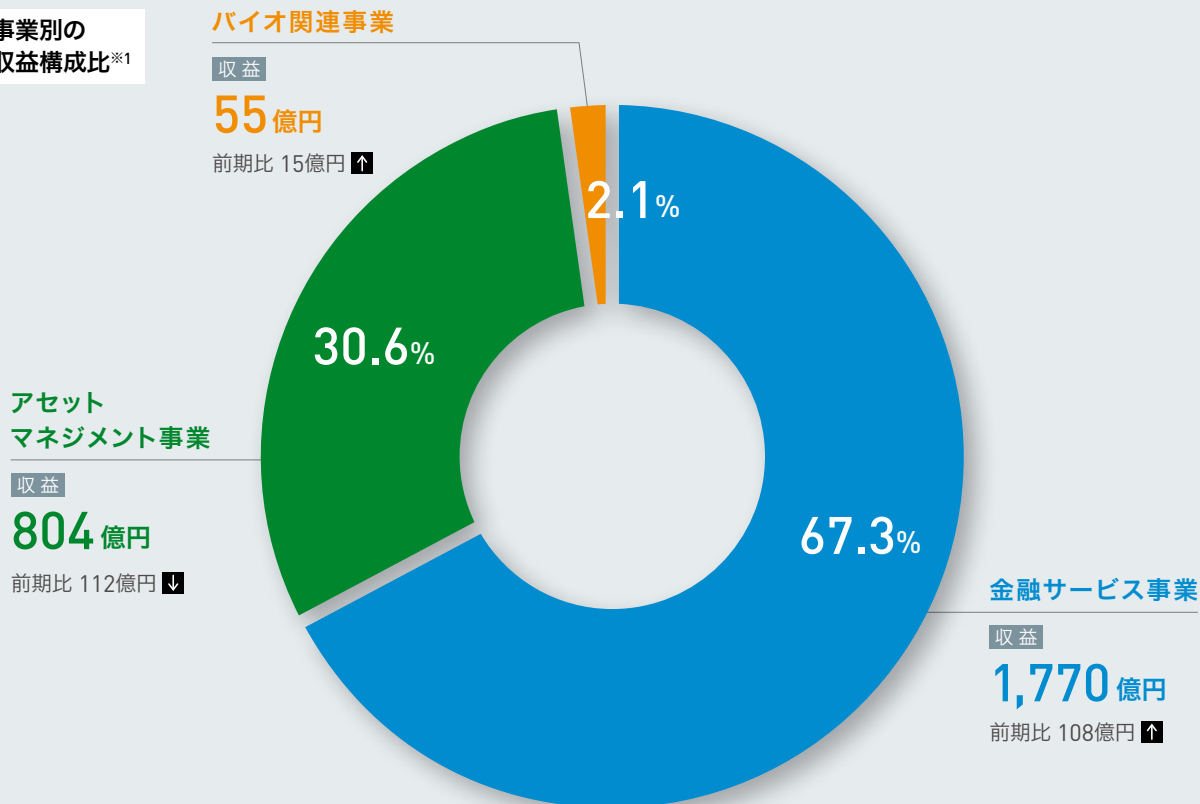
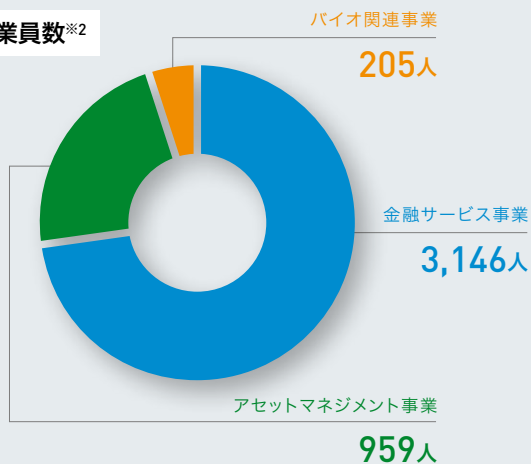


# SBI GROUP AT A GLANCE

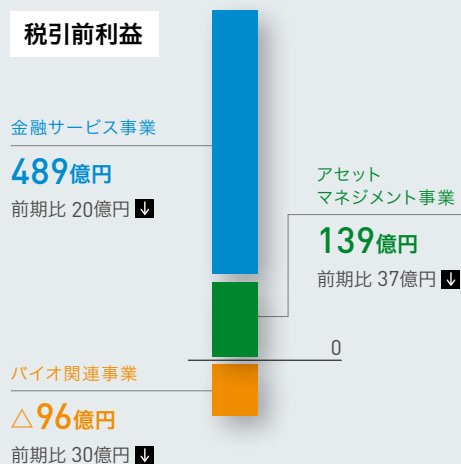
事業別の  
収益構成比※1



従業員数※2



税引前利益



※1 セグメント別の収益構成比率は、金融サービス事業、アセットマネジメント事業、バイオ関連事業の収益合計に対する構成比率を記載しています。

※2 全社共通人員など133名を除く。



## FINANCIAL SERVICES BUSINESS

P.24

### 金融サービス事業

インターネットを通じた革新的で利便性の高い  
金融商品やサービスを提供

#### 【主な事業】

- 証券関連事業
- 銀行関連事業
- 保険関連事業

#### 【業績ハイライト】

株式市況が低調であったことなどを背景にSBI証券の税引前利益は減少、他方でFXや保険事業など証券事業以外の金融サービス事業は順調に業容を拡大し、業績が伸長。設立2年以内の子会社を除き、全ての子会社が黒字化を果たし、セグメント全体の業績に寄与しました。



## ASSET MANAGEMENT BUSINESS

P.30

### アセットマネジメント事業

国内外のITやバイオテクノロジー分野等の  
ベンチャー企業へ投資、また資産運用サービスを提供

#### 【主な事業】

- ベンチャーキャピタル事業
- 資産運用サービス事業
- 海外における金融サービス事業

#### 【業績ハイライト】

保有銘柄の各期末における公正価値の変動が業績に影響を与えましたが、当期純利益(韓国会計基準)が過去最高を達成した韓国のSBI貯蓄銀行や、8期連続の増益を達成した資産運用サービス事業のモーニングスターなどが好調に推移し、セグメントの全体業績を下支えました。



## BIOTECHNOLOGY-RELATED BUSINESS

P.34

### バイオ関連事業

様々なパートナーと連携して  
医薬品・健康食品・化粧品の研究開発・製造・販売を展開

#### 【主な事業】

- 最先端のバイオテクノロジーを駆使した新たな医療、医薬品の研究開発
- ALAを用いた医薬品・健康食品・化粧品の研究開発

#### 【業績ハイライト】

SBIバイオテックの完全子会社であるクォークにおいて、複数の臨床試験が順調に進行中であり研究開発費等が増加したことで税引前損失は拡大した一方、SBIバイオテック単体及びALA関連事業のSBIファーマにおいては創業以来初の通期黒字化を達成しました。